四国八十八札所お遍路報告書

報告者　後藤隆徳

年月日　　２０１０年１１月４日（木）～９日（火）

回　数　　第１回

参加者　　後藤隆徳、陶山節子、山口五月、渡辺典子、鈴木新平、鈴木綾子、高岡八千代、土屋弥生、陶山泰信（お遍路でなくランニング）＝８名＋１名

巡礼寺・順

●一番札所　霊山寺（りょうせんじ・徳島市大麻町）
＊ 本尊・釈迦如来　＊ 山号・竺和山　＊ 宗派・高野山真言宗
＊ 草創・天平ころ
＊ メモ　遍路は巡拝にあたっての心がまえをお大師さまに約束（十善戒）する、いわゆる授戒をうけるのが本来

●二番札所　極楽寺（ごくらくじ・徳島市大麻町）
＊ 本尊・阿弥陀如来　＊ 山号・日照山　＊ 宗派・高野山真言宗
＊ メモ

●三番札所　金泉寺（こんせんじ・板野郡板野町）
＊ 本尊・釈迦如来　＊ 山号・亀光山　＊ 宗派・高野山真言宗
＊ 草創・聖武天皇の時代
＊ メモ　弘法大師が巡錫された時、黄金井の霊水がわき出た

●四番札所　大日寺（だいにちじ・板野郡板野町）
＊ 本尊・大日如来　＊ 山号・黒厳山　＊ 宗派・高野山真言宗
＊ メモ　西国の三十三観音像を安置した回廊がある

●五番札所　地蔵寺（じぞうじ・板野郡板野町）
＊ 本尊・勝軍地蔵菩薩　＊ 山号・無尽山　＊ 宗派・真言宗御室派
＊ メモ　弘法大師お手植の銀杏の巨木あり

●六番札所　安楽寺（あんらくじ・板野郡上板町）
＊ 本尊・薬師如来　＊ 山号・温泉山　＊ 宗派・高野山真言宗
＊ メモ　寺の宿坊には、天然温泉が出る

●七番札所　十楽寺（じゅうらくじ・阿波市高尾）

＊ 本尊・阿弥陀如来　＊ 山号・光明山　＊ 宗派・高野山真言宗
＊ メモ　参籠者に出される「たらいうどん」はこの寺独特の味
たらいうどん」とは、その名のとおり、たらいを器にした
釜揚げうどん。

●八番札所　熊谷寺（くまだにじ・阿波市土成町）
＊ 本尊・千手観世音菩薩　＊ 山号・普明山　＊ 宗派・高野山
真言宗
＊ メモ　山門と多宝塔が立派で凄い

●九番札所　法輪寺（ほうりんじ・阿波市土成町
＊ 本尊・釈迦如来（涅槃像）　＊ 山号・正覚山　＊ 宗派・高野山
真言宗
＊ メモ　ご本尊は弘法大師が刻まれた釈迦如来涅槃像

●十番札所　切幡寺（きりはたじ・阿波市市場町）
＊ 本尊・千手観世音菩薩　＊ 山号・得度山　＊ 宗派・高野山
真言宗
＊ メモ　本堂まで三百三十三の石段になっている

●十一番札所　藤井寺（ふじいでら・吉野川市鴨島町）
＊ 本尊・薬師如来　＊ 山号・金剛山　＊ 宗派・臨済宗妙心寺派
＊ メモ　古いお寺である

●十二番札所　焼山寺（しょうさんじ・名西郡神山町）
＊ 本尊・虚空蔵菩薩　＊ 山号・摩盧山　＊ 宗派・高野山真言宗
＊ メモ　昔から「遍路ころがし」といわれるほどけわしい山の
寺が、四国には六カ所あり、焼山寺もこの難所に数えられて
いる

●十三番札所　大日寺（だいにちじ・徳島市一宮町）
＊ 本尊・十一面観世音菩薩　＊ 山号・大栗山　＊ 宗派・真言宗
大覚寺派
＊ メモ　弘仁六年（八一五）弘法大師がこの地に巡錫され「大
師の森」という所で護摩修法されているとき、現在、寺のあ
る附近から大日如来が示現し「この地は霊地なれば一宇を建
立すべし」と告げられた

●十四番札所　常楽寺（じょうらくじ・徳島市国府町）

＊ 本尊・弥勒菩薩　　＊ 山号・盛寿山　　＊ 宗派・高野山真言宗

＊ メモ　大師が弥勒菩薩を信仰されていたことは、高野山麓にある九度山慈尊院に本尊として安置されていることからもうかがい知れる

●十五番札所　国分寺（こくぶんじ・徳島市国府町）

＊ 本尊・薬師如来　　＊ 山号・　法養山　＊ 宗派・曹洞宗

＊ メモ　正面に重厚な感じの二層の本堂。ありし日の大寺として面影さえうかがえる。天平十三年（七四一）二月、聖武天皇は国ごとに最適の地を選んで金光明四天王護国之寺という僧寺と、法華滅罪之尼寺という寺を建立するよう命じた。いわゆる国分二寺の造営である

●十六番札所　観音寺（かんのんじ・徳島市国府町）

＊ 本尊・千手観世音菩薩　＊ 山号・　光耀山　＊ 宗派・高野山真言宗

＊ メモ　天平十三年に寺は創建されたと伝えられ、聖武天皇勅願の道場であった

●十七番札所　井戸寺（いどじ・徳島市国府町）

＊ 本尊・七仏薬師如来　　＊ 山号・瑠璃山　＊ 宗派・真言宗善通寺派

＊ メモ　天武天皇の勅願道場として白鳳二年（六七四）に開創され、そのころは妙照寺とよばれ、八町四方の広大な寺域と十二坊を有する大寺であった。本尊の七仏薬師は聖徳太子の作。脇仏の日光・月光菩薩は行基菩薩の作

距　離

１１月５日（金）

霊山寺～１．２Ｋｍ～極楽寺～２．８Ｋｍ～金泉寺～５．４Ｋｍ～大日寺～２Ｋｍ～地蔵寺～５．１Ｋｍ～安楽寺＝約１６．５Ｋｍ

１１月６日（土）

安楽寺～１．２Ｋｍ～十楽寺～４Ｋｍ～熊谷寺～２．５Ｋｍ～法輪寺～３．８Ｋｍ～切幡寺～１０．２Ｋｍ～藤井寺＝約２１．７Ｋｍ

１１月７日（日）

藤井寺～１２．９Ｋｍ～焼山寺～８Ｋｍ～植村旅館＝約２０．９Ｋｍ

１１月８日（月）

植村旅館～１０Ｋｍ～大日寺～２．４Ｋｍ～常楽寺～１Ｋｍ～国分寺～１．７Ｋｍ～観音寺～２．８Ｋｍ井戸寺～３．５Ｋｍ～上鮎喰橋＝約２１．４Ｋｍ

宿

１１月４日（木）～６日（土）

さくら旅館　0883-24-2404　麻植郡鴨島町鴨島 502-11 （9 番・11 番の間・鴨島駅前）一泊二食６０００ー

・トイレはウォシュレットでない　・味噌汁お替りなし

・ご飯はお替りあり　・食事はまあまあ　・繁華街で夜中にカラオケの音がうるさかった

１１月７日（日）

植村旅館　0886-78-0859　FAX　678-1603　西郡神山町阿野本名

一泊二食７０００ー

・二階の階段が急で厳しい　・食事はまあまあ　・トイレはウォシュレットでない　・家庭的な雰囲気　・姉妹と娘経営

１１月８日（月）

大鶴旅館　TEL：088-653-0768　徳島県徳島市南仲之町１丁目 41

一泊二食５０００円（お遍路さんは千円引き）

・食事はまあまあ　・家庭的な雰囲気　・トイレはウォシュレでない　・お風呂は近くの銭湯（お遍路さんは無料）

・近くに瀬戸内寂聴の生家の仏具店がある

参加費　バス代＝５５０００ー、宿泊費＝３００００ー（５泊）

使用バス　清水町・ドリーム観光（ドライバー・Ｇ）

温　泉　入浴は全て近くの温泉施設を利用

経費　会としての寺経費はない

第１日目

１１月４日（木）晴

清水町５：００ー三島５：０５―下土狩駅５：１０ーなめり駅５：１５ー竹沢種苗―東名―浜名湖ＳＡ７：１０～３０ー新名神―明石大橋１１：１５～

４５―鳴門―一番札所・霊山寺（食事・買い物）１３：１０～１５：００―番外・大山寺１５：００～１６：００―入浴「鴨の湯」―さくら旅館１７：３０（泊）

いよいよ、待望久しい四国お遍路が始まった。天気は良い。この一週間安定した天気が続く模様。バスは快調に飛ばし明石海峡大橋を渡り、淡路ＩＣのＳＡに到着。ここは大きな観覧車が回り、明石海峡の豪快な景色を堪能出来る。

ここから更に鳴門ＩＣまで進み程なく、１番札所・霊山寺に到着。初めて見る四国八十八寺の山門は大きく立派だった。さすがに本場を感じさせる。まずは寺前にある「門前一番街」の「讃岐うどん」で腹ごしらえをする。

その後、今回のグッズを調達する。すげ笠・白衣・輪袈裟・ご朱印帳・掛け軸・杖・杖カバー・さんや袋、など購入した。ただ、この店にいっぺんに押し掛け短時間で会計したので、後で問題が発生した。この時、私だけちょっとクレームをつけた。

補修中の山門

大山寺

買い物後、宿に向かうが時間があったので、近くの番外（寺には別格と書いてあった）「大山寺」（おおやまじ）に向かう。この寺は標高４００ｍの高所に建つ。車で上れば問題ないが、歩くと相当大変である。

しかし、バスで車道を上っていくと何と歩いている方が２人いた。時間が遅いので宿はどうするのだろうか？山門に着いた。可なり荒れた山門で屋根にはブルーシートが掛けてあった。後にネットで知ったが、現在、補修中で屋根用の銅板の寄付を募っていた。山門から長い階段を上り境内に着く。大きな銀杏の木と西国三十三観音があった。番外であったがご朱印を頂いた。

寺を辞し今日の宿、鴨島駅前の「さくら旅館」に向かう。ただ、宿の風呂が小さいので先に近くの市営温泉「鴨の湯」（４５０－）に入る。大きくないが露天風呂を備えた

温泉だった。入浴後、買い物をして旅館に入る。全体的にまあまあの旅館だった。夕食は別室のお膳で頂いた。後で霊山寺のショッピングで私の会計が間違っていたので皆に点検するよう伝える。結果、Ｙさんが１万円近く違うことが判明。明日、朝一番で店に行くことを確認する。

第２日目

１１月５日（金）晴

朝食６：００ーバス発６：５０ー霊山寺７：４５ー二番札所・極楽寺８：００～３０ー三番札所・金泉寺９：０５～４０ー四番札所・大日寺１１：００～３０—五百羅漢１１：４５～１２：１０ー「水源」（昼）１２：１５～１３：１０ー五番札所・地蔵寺１３：１５～４５ー六番札所・安楽寺１５：００～１５ー（この間、霊山寺に戻る）—七番札所・十楽寺１５：４０～１６：００ー「御所の湯」ーさくら旅館１８：００（泊）

一番札所・霊山寺

一番札所の
ご朱印係りさん

二番札所・極楽寺

朝一番で霊山寺に来たが、まだ店は開いていなかった。後で来ることし、お遍路を開始。霊山寺は昨日お参りしてあるので、二番札所・極楽寺に向かう。極楽寺まで近い。１５分程で到着。赤い大きな山門が立派だった。

ご朱印を貰いに行く。ご朱印は、ご朱印帳と掛け軸で３０分ほど掛る。その間、皆はお勤めを済ます。掛け軸は、絹の布に書くので乾きが悪くドライヤーで温気を当て乾かす。この役目は先達が担う。

三番札所・金泉寺に向かう。ここも遠くない。道路脇には高徳線が走っていた。この電車は高松～徳島を結ぶもので、通勤客でいっぱいだった。

この寺の山門も赤い大きなものだった。何処の寺もそうだったが、ご朱印場は自動扉で明るく広くすごく立派。自動扉は先達が持ち切れないほどの、ご朱印帳を持ってくることを想定したものだろう。

ここのご朱印係りは女性だった。時間が掛るので世間話をしていたら、伊豆八十八の話になり、係りの若い女性は大いに乗り気で、今度是非訪ねたいと言った。一応。アドレスを置いて来た。

三番札所・金泉寺

立派なご朱印場

四番札所・大日寺に行く。ここは１時間ほど掛る。寺脇から案内板に従って田舎道を歩く。四国お遍路の場合、ほとんど地図はいらない。完璧に近い形で道標・案内板が完備されているからだ。田舎道には、たわわに柿が実っていた。広大なコスモス畑が広がりお遍路は飽きない。加えて天気はドピーカンで程良い気温。四国を歩いて回る幸せを感じる時だった。

途中、金泉寺奥の院・愛染院があった。山門に大きなワラジが立て掛けてあり、犬が日向ぼっこをしていた。更に進むとお休み処のウドン屋があって、お姉さんが「寄っていらっしゃい」モ―ドだったが、あいにくちょっと時間が早かった。

四番札所・大日寺に着いた。ここも大きな山門を持つ立派なお寺だった。本堂に続く回廊には、西国三十三観音像を安置してあった。回廊に上がってゾロゾロ見て回った。

四番札所・大日寺

五番札所・地蔵寺に向かう。途中に五百羅漢があった。中に弥勒堂・釈迦堂があり、それを繋ぐように五百羅漢が様々な表情で佇立する。なかなかの迫力で表情が楽しく面白い。管理人のお母さんの愛想がとても良かった。

ここを辞退して昼食とした。バス運転手のＧさんが近くの「水源」と言う店を探してくれた。サワラとイワシ料理を食べたが美味しかった。Ｓさんとビアも頂いた。

昼食後、地蔵寺に入る。境内に大きな弘法大師の像があった。大師が植えた大きな銀杏の木の下で秋の柔らかい日差しを浴び、一人のお遍路さんが休憩をしていた。その後ろ姿が丁度、境内の大師さまと重なっていかにも四国お遍路そのものだった。（写真・左下）

五番札所・地蔵寺

六番札所・安楽寺に着いた。入り口に四国お遍路、五百回満願の記念碑があった。大阪の８４歳のＦさん。昨年作ったものだ。歩き遍路で五百回！！凄いものだ。何年かかったものだろうか。

六番札所・安楽寺

山門が竜宮城みたいな形だった。山号が温泉山で、宿坊に温泉が湧いているそうだ。またご本尊は薬師如来。本堂でよく見えるので写真を撮っていいですかと聞いたら、気軽に撮らしてくれた。

明日を考え予定外で七番札所・十楽寺に向かう。ただ、例のグッズ勘定間違いがあるので、Ｙさん、Ｓさん、私でバスに乗って霊山寺に赴いた。グッズ店に到着すると昨日の方は居ないで責任者みたいなご婦人が居た。事情を話すと快く応じてもらえた。今朝も来たと話したら、お詫びのしるしにと白衣を１枚くれた。

バスで再び十楽寺に向かい、皆と合流し記念写真を撮った。今日はこれでおしまい。温泉は、土成ＩＣ近くの「御所の湯」６００－。綺麗でなかなかいい温泉だった。入浴後、今日も「さくら旅館」宿泊。ご苦労様でした。合掌。

歩き遍路
五百回記念碑

七番札所・十楽寺